

理事会議事録

開催日時 令和7年3月18日 午後18時30分
開催場所 後楽島ビル6階 JBA 会議室
出席理事 17名 (理事総数20名)
代表理事 橋本 信雄 針生 淳男
理 事 渡辺 篤 田中 武夫 吉田 明子 森茂 達雄
田中 宏 森田 優 馬場香保里 河野佐紀子
内野小百合 島田 永秀 武井 貴 福島 正明
西山 貴広 市川 数馬 木下 佳子
出席委員長 7名 俵川 高明 川村 明彦 芦川 勝彦 北村 麻衣
河原 弘行 青柳 彰 伊藤 恒
出席監事 2名 (監事総数2名)
三澤 裕 小見山 一
法務アドバイザー 林 圭介

議 題

一、決議事項

- 第1号議案 2025年度事業計画書、収支予算書承認の件
第2号議案 委員会 委員追加承認について
第3号議案 2024年度年間表彰推薦チーム承認の件
第4号議案 2025年度 国スポ監督・スタッフ承認の件

一、報告事項

- 第1号報告 専務理事報告
・デフリンピック開催について(都協会へのTO、モッパ協協力依頼)
・専任アスレティックトレーナーの提案について
・2月1日の関東専務理事会報告
・全国専務理事会会議報告
・都協会のありたい姿実現に向けて
第2号報告 各委員会報告
第3号報告 各連盟報告

議事の経過の要領及びその結果

定款の規定により橋本会長に代わり森田常務理事が議長となり、本日の出席理事数を上記の通り報告し、法令及び定款に定める定足数を満たしているので本理事会は適法に成立した旨を述べ、開会を宣し、直ちに議事に入る。

一、決議事項

第1号議案 2025年度事業計画書、収支予算書承認の件 【資料1.2】

議長は、本議案を上程し、2025年度事業計画書、収支予算書承認の件について審議承認を求めた。
針生専務理事より、資料1に基づき2025年度事業計画書について詳細なる説明があった後、議長は、本議案の可否について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認、原案どおり可決した。
続いて、資料2に基づき収支予算書について詳細なる説明の上、黒字予想で予算を組んだが十分ではないため、本日現在の予算ベースとする旨、今後、委員会、部会とヒアリングのうえ、予算再精査を行い、5月理事会において修正予算を再審議する旨補足があった後、議長は、本議案の可否について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認、原案どおり可決した。

第2号議案 委員会 委員追加承認について 【資料3】

議長は、本議案を上程し、委員会 委員追加承認について審議承認を求めた。
針生専務理事より、資料3に基づき詳細なる説明があった後、議長は、本議案の可否について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認、原案どおり可決した。

第3号議案 2024年度年間表彰推薦チーム承認の件 【資料4】

議長は、本議案を上程し、2024年度年間表彰推薦チーム承認の件について審議承認を求めた。
武井委員長より、資料4に基づき詳細なる説明の後、議長は、本議案の可否について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認、原案どおり可決した。

▶今年度より全国大会上位という表現を改め、優勝または準優勝の成績とした。

▶表彰チーム 13チーム

- ・社会人 neo うめや(男子)
- ・社会人 ミツウロコ(女子)
- ・社会人 カプリコーン(女子)
- ・大学 日本大学(男子)
- ・大学 東京医療保健大学(女子)
- ・定通制 都立一橋高等学校定時制(男子)
- ・定通制 都立一橋高等学校(女子)
- ・ID 東京都代表(知的男子)
- ・ID 東京都代表(知的女子)
- ・東京代表 バックボーン(男子)
- ・東京代表 neo うめや(男子)
- ・東京代表 U+(女子)
- ・東京代表 MYC(女子)

第4号議案 2025年度 国スポ監督・スタッフ承認の件 【資料5】

議長は、本議案を上程し、2025年度 国スポ監督・スタッフ承認の件について審議承認を求めた。
森茂常務理事より、資料5に基づき詳細なる説明の後、少年女子監督以外のスタッフは調整中である旨、強化委員長が成年男子アシスタントコーチに入る旨補足があった後、議長は、本議案の可否について議場に諮ったところ、満場異議なくこれを承認、原案どおり可決した。

一、報告事項

第1号報告 専務理事報告 【資料6】

- ▶デフリンピック開催について(都協会へのTO、モッパ―協力依頼)…11月に東京で開催することに伴い、都スポーツ文化事業団よりJBA経由でTO、モッパ―への協力依頼があった
現在、話を詰めている段階ではあるが、平日含めた10日間の開催となるため、今後、TO委員会、社会人、大学、高校各連盟へ協力の依頼をさせていただく
- ▶専任アスレティックトレーナーの提案について…医科学委員長よりコスト削減に向けた試しの運用として、専属的なトレーナーを決め、その方を中心に派遣を回すことで業務効率が上がる可能性がある」と提案があり、一旦は受けている状況である
今後1年間活動をみて、継続するかを判断する
- ▶2月1日の関東専務理事会報告…各関東大会期日、開催地の資料報告
- ▶全国専務理事会会議報告…主な議論として①3x3 オーガナイザーに対する統制のため登録制度の検討について、②U15 カテゴリー登録の明確化について(JBA方針2027年度までに登録必須を実現、実施可能な都道府県は2025から実施)、③ガバナンスについて、④競技者登録推進についてが行われた
なお、②については改めて3月末までにJBAより通達がされる
- ▶都協会のありたい姿実現に向けて…事業計画書と重複するため割愛された

第2号報告 各委員会報告

1) 広報委員会 (俵川委員長)

- ▶1/29よりホームページがリニューアルされた
- ▶実際に運用して気づいた問題点としては、他県に比べ内部組織が多いため、情報が多岐に渡っており、目的の情報にたどり着くまでに時間がかかる
- ▶運用の中でご意見あればあげてほしい

2) 競技委員会 (川村委員長)

- ▶天皇杯・皇后杯都予選について、3月中に日程を確定しご報告できるよう準備している
- ▶今年度は5月の東京都スポーツ大会よりスタートする

3) TO委員会 (河野委員長) 【資料7】

- ▶2月に全国TO委員長会議が実施された
- ▶2022年度にJBATO委員会が立ち上がるにあたり、「すべてのゲームでTOがミスなく実施できる」が目的としてあげられ、その中でTOマニュアル、TO主任マニュアル、TO基礎講習(eラーニング)、ライセンス制度が始まった
- ▶2025年度に向け、TO基礎講習の受講促進(各チーム1名受講を目標)、U15、U18に向けたTO主任研修の実施(年間6回予定)
- ▶受講促進に向けたお願いとして、代表者会議での伝達やプログラム掲載など提案したい
- ▷三澤 コーチや審判資格取得の際にTO基礎講習を義務化してはどうか
- ▶全国会議ではJBAが動くものでないかとの意見があがった
- ▷田中 受講は実際にTOするものが受けるものなのか、生徒が受講する場合は簡単にいかないのではないかと

- ▶高体連は生徒自らの ID で受講しているが、中体連生徒については顧問の ID で部活の活動時間を利用して取り組んでいただいている

4) 強化育成委員会(育成部) (芦川委員長) 【資料 8】

- ▶今年度活動実績の報告があった
- ▶各カテゴリー受益者負担として参加料を順次拡大しており、現時点で U13/14 まで 1 コマ 2000 円でマネタイズができています
- ▶スタッフの稼働や会場確保に課題やマネージャー業務に関する報酬等取り組んでいきたい

5) 指導者養成委員会 (北村委員長)

- ▶12 月に D 級養成講習会 4 回目、2 月にキッズサポーター養成講習会 3 回目を実施し、予定していた講習会はすべて終了した
- ▶1 月に 1 回、3 月に 2 回勉強会(リフレッシュ研修会)を実施した
- ▶次年度新規事業として女性コーチカンファレンス、キッズフェスティバルを予定している

7) アンダーカテゴリー U18 部会 (河原部会長) 【資料 9】

- ▶2/15 に連絡会が行われ、2025 以降 U18 リーグ戦が上位接続をしていく、更に 2026 年度に関してトップリーグから PBA まで完全接続をしていくといったマスタプランが示された
- ▶2 月末で終了した男子 109 チーム、女子 80 チームの参加のリーグ戦結果報告があった
- ▶2025 年にブロックリーグの編成が変わる関係で、男子は東京都から推薦する 2 チームを決定するため、6/29 に参入戦を実施し、女子は 2024 年度の結果をもって推薦する 3 チームを決定する 2026 年度に関しては男女ともに行わなければならぬと JBA よりおりてきているが、運用については未定である
- ▶2025 年度より T1、T2 の参加料は 30000 円へ増額とするが、主な理由としては 3PO 審判での実施としている

9) アンダーカテゴリー U12 部会 (西山部会長)

- ▶3/1、2 に栃木県日環アリーナで関東大会が行われ、東京都より男女 2 チームが出場した
男子 木場レッドシャークス 1 位リーグ第 1 位
UMJ 東六郷 2 位リーグ第 1 位
女子 東大和ビクトーズ 1 位リーグ第 2 位
深川バスケットボールクラブ 3 位リーグ第 2 位
- ▶鈴木正三杯で優勝した男子 城東ミニバスケットボールクラブ、女子 開桜 MBC は 3/28~31 に行われる全国ミニバスケットボール大会へ出場する
- ▶部会内で移籍に関する問題が他方起こっている
JBA からは強化による移籍は認められないとしているが、上位大会へ繋がる大会への出場の中で、申請理由と異なる移籍が見受けられる
JBA 移籍規定に公式試合の出場資格については大会要項で設けることができるとあり、先日の関東連絡会での情報交換にて他県では夏頃を目途に出場制限を設けているといった話があったことから、U12 部会委員長会議内で鈴木正三杯出場への資格制限について話を進める予定である

8) アンダーカテゴリー U15 部会 (青柳部会長)

- ▶Jr.ウィンターカップ運営協力に関する御礼、JBA 中期方針については今後検討していくとの報告

があった

第3号報告 各連盟報告

1) 社会人 (島田理事) 【資料10】

▶資料に沿って各大会結果報告、次年度 SBL1 への TO、コートキーパーへの協力依頼があった

2) 高校男子 (武井理事)

▶関東新人大会結果報告があった

優勝 八王子学園八王子

▶2026 年に向け、大会参加費値上げを検討している

▷橋本 値上げを検討している原因としてどのようなことがあるか

▶審判、TO 謝礼の値上げ、その他物価高によるものである

▷橋本 男子高体連のみならず、他連盟にも共通することであるため、他連盟についても検討をお願いする

3) 高校女子 (福島理事) 【資料11】

▶WC、関東新人大会結果報告があった

WC ベスト 16 東京成徳

関東新人 優勝 八雲学園

▶4 月より関東予選を予定しており、5/3～5(5 日は男女共催)は京王アリーナで実施する

4) 大学 (木下理事、吉田副会長) 【資料12】

▶資料に沿って各大会結果報告があった

▶関東大学女子バスケットボール連盟の法人化について報告があった

その他

渡辺副会長より、次回理事会決議事項として、定款変更、役員候補者選考委員会規程変更について、事前のお知らせがあった

議長は、以上をもって議案の全部の審議を終了した旨を述べ、午後 20 時 10 分閉会を宣言した。